

教育目標 「 豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒 」

重点目標 「 豊かな心 確かな学力 健やかな身体 」

あ さ ひ こ 中朝日子

佐渡市立畑野中学校 学校だより

令和 6 年 9 月 9 日(月) 第 4 号

著・編 校長 福井 晴人 (TEL 66-2058)

<http://hatano-js.sado.ed.jp/>

E-mail hatano-js@sado.ed.jp



諦めない 負けられない

勝破笑美戦(かっぱえびせん)



いよいよ体育祭です！実行委員長や団長、パネル長に意気込みを聞いてみました。

体育祭実行委員長 H.S

体育祭実行委員長になりました、3年H.Sです。実行委員長ということで、全校が楽しめるような体育祭を創り上げられるかとても緊張していますが、生徒全員が楽しめるような、最高な体育祭にしたいと思います。そのために、練習からみんなが一体感のあるパフォーマンスができるように全校をまとめていきます。

今年度の体育祭で保護者や地域の方々には特に見てほしいところは競技と応援です。なぜかということ、全校生徒が軍の勝利に向かって戦っている姿が表立って現れるからです。またパネルも両軍ともテーマに合った力強く、そして繊細な絵を描きました。そちらもぜひ見てもらいたいです。そして全校生徒の皆様へ、「勝っても破れても笑顔でいられるような美しい戦いをするために、練習から一丸となって頑張っていきましょう。」

紅軍応援団長 H.Y

今回紅軍応援団長になりました、H.Yです。今年の体育祭では、応援団長として紅軍を引っ張り、楽しかったなどと思える体育祭にしたいです。

今年は三冠をとるという目標を立てて、日々努力しています。この三年間達成されていない三冠をとるために、自分が一番声を出し、紅軍を引っ張り、笑顔が絶えない体育祭にしたいです。

青軍の皆さん特に応援団長全力を出して頑張りましょう。そして、紅軍の皆さん三冠目指して頑張りましょう。



青軍応援団長 H.Y

青軍応援団長になりました、H.Yです。中学生での体育祭は、今年で最後になりました。僕は団長としてみんなを引っ張って三冠をとりたいたいです。そして、中学校生活で一番の思い出にしたいと思います。体育祭はスポーツと同じです。みんなの心が一緒にならないと勝てません。みんな一緒になって、紅軍に負けなくらい声を出して、午前一番初めからめっちゃ声を出して、体育祭を盛り上げ、流れを青軍のものにしましょう。

紅軍団長さん、僕たちは勝負に絶対に手を抜かないので紅軍も本気てください。青軍の皆さん、頑張って三冠をとり最高の思い出にしましょう。



紅軍パネル長 H.R

僕は今回紅軍パネル長になりました。1、2年生のころからパネル係をしていて、3年生になったらパネル長になろうと思っていたので、パネル長になれてうれしいです。いざなってみると大変なことばかりで「先輩方もこういうことをしてきたんだな」と、改めてすごいと思いました。

今回の軍テーマは[闘魂]です。闘牛と一緒に闘う武者をイメージしてかきました。パネル係のみんなのおかげで、ここまでいい絵が描くことができました。これからもパネル長としてみんなを引っ張って、パネルの部を取ることができるよう頑張ります。



青軍パネル長 O.Y

青軍パネル長になりました。O.Yです。今年の青軍パネルのテーマは《独尊》です。少し難しいので意味を書いておきます。「自分一人が他人よりも優れて尊いこと」です。

このテーマに沿って、自信に満ち溢れた虎の絵を描いてもらいました。私はパネル長ですが画力が無いので、副パネル長の渡部真帆さんに頼みました。特に見てもらいたいところは何といっても虎の顔面です！カッコいいので…。こんな画力もないし不器用なのに、パネル長になった私ですが、パネル係の仲間と協力していい作品を仕上げられたらと思います！



実際のパネルは、イラストと違います。体育祭当日をお楽しみに！

令和6年度「私の主張 佐渡地区大会」 の畑野中の代表作文です。

夏休み中の8月22日に金井コミュニティーセンターで標記の大会がありました。畑野中の代表として、3年生のH.Mさんが、堂々と発表をしました。内容も素晴らしいので、皆さんにも一読してほしいと思い、全文を掲載します。

初めての恐怖

三年 H.M



「あれ、地震かな。」

令和6年1月1日午後4時7分ごろ、ガクッと物音がして地震かと思い母に確認しようと階段を下りていたとき、突然スマホの緊急地震速報が鳴りました。

「やばい、やばい。」

私は落としたスマホを即座に拾い、一気に階段を下りました。頭が恐怖で真っ白になりながらも、母の

「地震だよ！ストーブ消して！」

の声に慌ててストーブを消し、母の元で頭を守りながらうずくまっていました。「石川県能登地方で最大震度7を観測。」アナウンサーの言葉に私はすぐにスマホで仲の良い友達と情報を共有しました。友達の安否を確認していると、スマホから聞き慣れない音がしました。

「津波です。」その言葉で身体が震えたのを感じました。

津波。この言葉を聞いた日本人が思い出す出来事は大体一緒だと思います。2011年3月11日、私の中で一番大きな震災、東日本大震災。この地震はマグニチュード9.0の巨大地震で、福島県相馬では9.3m以上もの津波が観測されました。死者は十二都道府県で1万5900人、行方不明者は令和6年現在で2520人と発表されています。私はあまりの人的被害の数に言葉を失いました。学校の授業や、テレビで何度か東日本大震災の映像を目にしたことがあり、たくさんの物が落ちてきて、町は一瞬にして壊れ、津波によって家が流されていました。地震、津波の恐ろしさがとてもわかる映像だったのを覚えています。

「津波です。」東日本大震災の映像を見て津波の恐ろしさを知っていたからこそ今まで感じたことのないほどの恐怖を感じたのだと思います。

「津波だって！逃げる？」母にそう聞くと、「ここは大丈夫だよ」その言葉に不安を感じながらも、何度も鳴る緊急地震速報に怯えながら動けずに時間が過ぎていきました。

地震も止まって落ち着いてきた頃、私がやっと動き出したのは午後6時半でした。夕飯を食べ終わって、ふとテレビを見るとそこには石川県の避難をしてきた人たちの中継がされていました。数十人がアルミホイルのようなものに包まれながら身を寄せ合って外の地面に座っていました。元日の夜どれほど寒かったでしょうか。私は、地震がまたくるのではないかという恐怖と、石川県の方のことを考えその日は全然寝つけませんでした。

初めて体験した巨大地震。学校で地震の避難訓練は何度もしたことがあり、プリントで本当に地震が起こったらどのように行動するかも考え、書いたことがありましたが、全く自分の書いたとおりに動けませんでした。もし避難をしなくてはいけなくなって自分が避難所に行ったらどんな行動をとらなくてはいけないのかをもう一度考えてみました。東日本大震災での課題は、情報収集・伝達、救出、災害医療、物資輸送などがあげられています。そして、能登半島地震の課題は主に通信途絶、断水、停電といったものです。断水などで水を運んだりするお手伝いなら私でも出来ることです。しかし、マグニチュード9.0の大規模な地震だと、私たちが手伝えることはあまり無いような気がします。「東日本大震災での復興作業や避難所でのボランティアで中学生の手がとても助かった」と書かれている記事を見ました。それを見て、自分がもし同じ状況になったとき、その中学生と同じことが出来るかと言われたらそんな自信はありません。

今後も、巨大地震や大規模な災害がくると予想されています。そんな時、私自身が出来ることを今から考えていく必要があると思います。家族のため、地域のため、社会のために状況を見て自分の出来ることを最大限に尽くす、そんな大人になりたいです。

体育祭の連絡です。ご来場をお待ちしております！

期日 令和6年9月28日(土)9時45分から

会場 晴天時 畑野小学校グラウンド、雨天順延29日(日)に実施

日程 開会式 9:45~10:00 競技・応援 10:05~11:45、12:50~13:45 閉会式 13:50~14:05

